

## 積算資料

### 間接工事費(諸経費)

諸経費工種は「橋梁保全工事」を適用。  
施工地域は「一般交通影響有り(1)」を適用。 理由: 国道9号の道路規制が必要となるため。

### 歩掛適用について

#### 橋脚巻立て工

- ・コンクリート巻立ての施工パッケージについては、支柱サイズが標準適用外となるため、適用範囲外用のパッケージを用いて積算しています。
- ・削孔用のRCレーダーについては、技術管理費にて計上しています。
- ・組立アンカー(D13)については、アンカー本体と鉄筋一体型の製品で計上しています。(現場にて必要長さに切断することを想定しています。)
- ・アンカー定着用のエポキシ樹脂注入の材工は、コンクリート削孔のパッケージに含まれています。

#### 落橋防止装置工

- ・落橋防止部材の取付については、「橋梁架設工事の積算」P4-63における、④-1及び④-2タイプの落橋防止装置取付に係る部分を準用し積算を行っています。本資料では、上部工が鋼桁の場合の積算手法が示されていますが、落橋防止部材の取付は、鋼桁補強とは別に独立しているため、今回の場合の様に、上部工がコンクリートの場合も準用できると考えました。
- ・PCT部分上部工のU-ウェッジフレームの取付については、見積りによる工事費を採用しています。なお、当該見積り工事費は、ブラケット桁側部分のみを対象とし、桁下側は含みません。桁下側の取付費用については、落橋防止装置取付工に含まれています。
- ・部材作成前の近接調査計測工については、技術管理費にて計上しています。
- ・ブラケット取付背面のチップング工については、その合計値が日当り施工量の7m<sup>2</sup>に満たないため、極小規模作業積算にて算出しています。
- ・RC床版への上向きアンカーの歩掛については、横向きアンカーの歩掛を準用し積算しております。
- ・アンカー引き抜き試験については、必要箇所・本数に応じて現場対応をお願いします。
- ・より線形式の上部工ブラケット(U-ウェッジフレームを含む)については、工数での見積り取得ができなかったため、工場製作塗装品、現着の見積り価格にて積算をしております。

#### 石・ブロック積(張)工

- ・1号ブロック張工(大型ブロック)については、大型ブロック積のパッケージを準用し積算しています。
- ・胴込コンクリートについては、KPブロックA型を用いた場合の必要量を計算し計上しています。

#### 舗装工

- ・国道路肩舗装工の下層路盤工、上層路盤工については、施工規模が小さく機械施工が困難として、人力施工(歩道部準用)としています。

#### 雑工

- ・間詰割栗石撤去については、橋台背面の床掘として計上しています。
- ・間詰割栗石の処分費については、土砂の処分費として積算しています。

#### 交通誘導員

- ・全工種積み上げにより、交通誘導員配置必要日数の最低を47日と見込んでおります。  
国道9号施工箇所前後2名配置(誘導員A1名、B1名)配置を想定。交替要員1名(誘導員A)を見込む。  
誘導員A: 47日 × 2 = 94人日、誘導員B: 47日 × 1 = 47人日

#### 見積単価について

- ・ご指示頂いた通り、見積り4社のうち中間値の単価を採用し積算を行っております。  
(なお、3社の見積りが同額であったため、中間値は3社同額の見積りを採用しております。)

步掛特殊施工単価一覧表
-------------

・他の基準書や見積より歩掛の特殊施工単価(Vコード)を作成したものは以下のとおりである。

[illegible]